

朝日新聞 昭和三十一年九月九日 第四千八百八號

本報は北西の風 晴れは北西の風

千八百圓詐欺取犯人

足どりを晦す 飛鳥の早業

（既報） 古物商宣風堂、安亭 茨の町から、飛鳥の早業、千八百圓を詐欺取った犯人が、千八百圓を盗んで逃げた。...

一家二名を始め 初春早々チブス蔓延

隔離病舎は既に満員 傳染統系不明

平市に発生したチブス（チブス）は、初春早々蔓延し、隔離病舎は既に満員である。...

各校の 書初展

市内第一、第二、第三各小學校の書初展が、十日から十日まで開催される。

石城の石の傳説 (2)

警女郷土研究部調査

（一）化石傳説 高千穂村の近郊、石城の石の傳説が、警女郷土研究部によって調査された。

金を債務 調停委員

本年新任 平區裁判所管内に於ける

平區裁判所管内に於ける本年新任の調停委員が、九月八日に任命された。

子を思ふ母が 學校へ無名で 寄附金を贈る

みかまの無名無姓の無沙汰

みかまの無名無姓の無沙汰な母が、学校に無名で寄附金を贈った。

天理教婦人會 傷病慰問

天理教支部婦人會が

天理教支部婦人會が、戦線に戦っている兵士たちの傷病を慰問した。

嗚呼古泉大尉 (二)

野崎 満藏

九月廿四日は山雨正にあり、風は強き。嗚呼古泉大尉の戦いについて記述する。

戦線の勇士が 郷土へ献ぐ至情 手當を割いて送金

鹿島村出身の勇士が

鹿島村出身の勇士が、郷土へ至情の手當を割いて送金した。

四倉消防組幹部 報勞手當を献金

四倉町消防組幹部が

四倉町消防組幹部が、報勞手當を献金した。

平教育會 組織變更 縣の部會に 大竹君から

平教育會が組織變更

平教育會が組織變更を行い、縣の部會に大竹君から報告された。

少年工幹旋 紹介所に續々 各工場の募集殺到

少年工幹旋の募集

少年工幹旋の募集が、各工場から殺到している。

老人益首 病氣を苦しむ 老人益首

老人益首の病氣

老人益首が病氣を苦しんでいる。

平市人事 明日の部

平市人事の動き

平市人事の動きについて報告する。

貧の淵の誘ひ 若さに叛く 戦勝の春を他處に

貧の淵の誘ひ

貧の淵の誘ひ、若さに叛く、戦勝の春を他處に。

死の淵の誘ひ

死の淵の誘ひ

死の淵の誘ひについて記述する。

新春雜詠

盛岡市 鈴木 文

新春雜詠の詩集。

明日の部

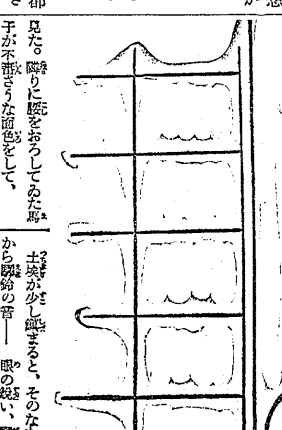
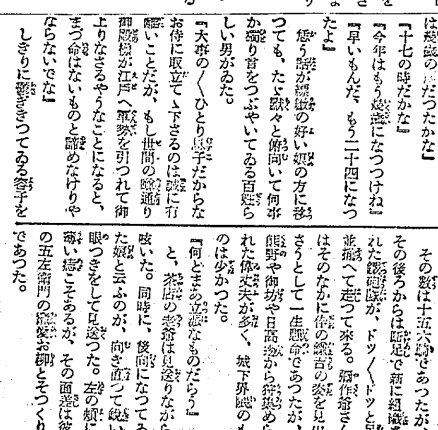
明日の部

明日の部の記事。

今日

今日

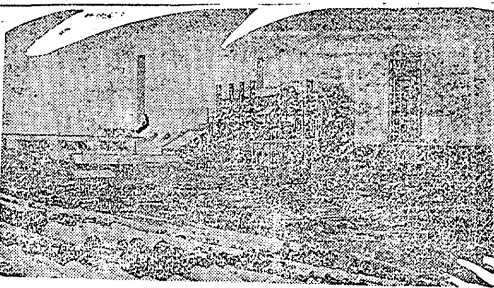
今日の出来事。



Additional text at the bottom left of the page.



家庭 (家庭メモ) 冬の準備がカッ... 冬の手際がカッ... 冬の手際がカッ...



春の婦人子供服地の混紡は安くなるらぬ 断然本絹銘仙流行か 羊毛輸入制限 新製品博多織

家庭内には改善の餘地あり 非常時の衣類対策 改善の餘地あり

混紡時代に躍る 代用パルプ工業 混紡時代に躍る 代用パルプ工業

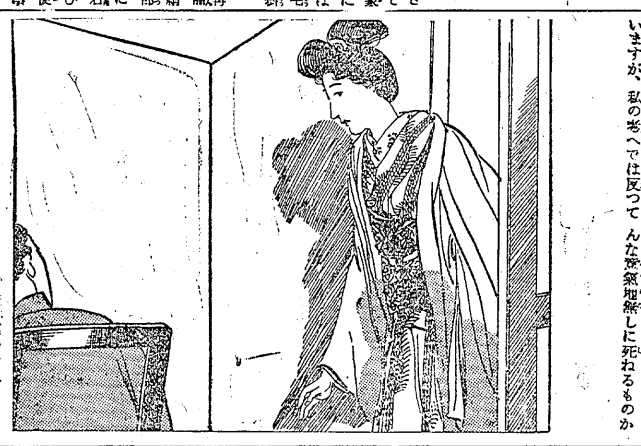
とるなく寒 手相ひ遊が具玩 (を揮選てじ應に齡年)

非常時の衣類対策 家庭内には改善の餘地あり 改善の餘地あり

生きた地理 地中海の諸 生きた地理 地中海の諸

生きた地理 地中海の諸 生きた地理 地中海の諸

愛慾非常線 寺崎洋々 松村秀彦 愛慾非常線 寺崎洋々 松村秀彦



生きた地理 地中海の諸 生きた地理 地中海の諸

クレオソート 精製コイルター 山田文一商店 電話二六二番

上原家政婦會 會主産婆 上原通子 電話二二二番

北川外科 伊藤石炭店 電話三三九番

鯉節 美味 鯉節から

金成醫院 外科 一般 電話五五八番

お醤油は ヤマフル 福島縣平市 電話二七〇番

吉田眼科醫院 電話八六番